

教 育 委 員 会 会 議 次 第

令 和 2 年 4 月 3 日 ( 金 ) 16 : 30

教 育 委 員 会 会 議 室

1 開 会

2 案 件

(1) その他報告

その他報告①「新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う教育委員会の対応について」

(学校保健課長・指導企画課長)

3 閉 会

教 育 委 員 会 （ 臨 時 会 ）

- 1 開催年月日 令和2年4月3日（金）
- 2 開催時間 16：30～16：50
- 3 開催場所 小倉北区役所庁舎東棟6階
- 4 出席者 （教育長）田島 裕美  
（教育委員）シャルマ 直美 平野 氏貞 大坪 靖直  
津田 恵次郎 竹本 真実
- 5 事務局職員
- |              |        |
|--------------|--------|
| 教育次長         | 太田 清治  |
| 総務部長         | 松成 幹夫  |
| 教職員部長        | 福嶋 一也  |
| 学校支援部長       | 柏井 宏之  |
| 指導部長         | 古小路 忠生 |
| 学力・体力向上推進室長  | 金子 二康  |
| 総務課長         | 田中 真徳  |
| 企画調整課長       | 正平 徹二  |
| 学事課長         | 仲道 裕一  |
| 学校保健課長       | 角野 純二  |
| 指導企画課長       | 根橋 広樹  |
| 指導第一課長       | 澤村 宏志  |
| 指導第二課長       | 中溝 直樹  |
| 特別支援教育課長     | 小西 友康  |
| 学力・体力向上推進室次長 | 藤井 創一  |
- 6 書 記
- |         |        |
|---------|--------|
| 総務課庶務係長 | 増田 真二  |
| 総 務 課   | 早川 由香里 |
- 7 会議の次第 別紙のとおり

## 教育委員会(臨時会)会議録 (令和2年4月3日)

### 1 開 会

16:30 田島教育長が開会を宣言

### 2 会議録署名委員の指名

田島教育長が会議録署名委員に、シャルマ委員と平野委員を指名。

### 3 案 件

#### (1) 公開案件

その他報告①「新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う教育委員会の対応について」

指導企画課長が報告。

[報告要旨]以下の項目について報告。

- ・令和2年度の新学期における市立学校の臨時休業について
- ・臨時休業の考え方 等

平野委員／4の(1)に「休業期間後半に分散登校日を設定する予定」という記載があるが、3月にも実施していたと思う。

3月に実施した内容に対して、前回の評価をした上で今回、何か工夫する点や、変更する点があったら紹介いただきたい。

指導第一課長／前回も、こころと体のケアというのが趣旨であった。

その点、非常に各学校からも、設定してもらってよかったという声が多く上がっている。

そういったことを踏まえ、今回も、休みが春休みから続いているので、同様の趣旨で行いたいと思う。

今のところ、次の週から再開予定になっている。

田島教育長／今回、中学校は回数を増やすのか。

指導第一課長／前は小学校も中学校も、児童・生徒については1日登校ということではあったのだが、今回、中学校においては、2日という形で設定をし、対応してまいりたいと思う。

小学校については、1日登校という形を設定してまいりたい。

指導部長／紙面のほうには「登校日を設定する予定」と書いてあるが、現在、どういうふうに実施するのか模索中ということである。その中の1つに小学校新1年生の取り扱い、どのような形で学校に登校させるのか、あるいはもう登校させないのか、この辺も校長会等の意見を聞きながら、慎重に、学校と調整をしていこうと、準備を進めているところである。

田島教育長／この分散登校に関しては、発達段階に応じて、やり方が違うという理解でいいか。

指導部長／そうである。

大坪委員／臨時休業等に伴う措置の学校行事の取り扱いについてお尋ねする。

始業式・入学式については、それぞれ工夫をしながら実施すると、今ご説明いただいたが、始業式と入学式の日程は、おそらく違うのだろうと想像するのだが、学校種ごとに始業式と入学式、どういうふうに違うのかをご説明いただきたい。  
指導第一課長／共通するところは、とにかく「3密」にならないよう留意するというところである。

始業式は行うことになっているが、この「式」という名前は付いているが、柔軟に対応し、体育館に一斉に集めるということはないこととしている。

例えば、放送で対応する、あるいは屋外での形にするというようなこともある。距離をしっかりと十分にとって、子どもの安全ということを第一に考えて行っていく。そのあとの学級でのことについてもできる限り短時間で行っていきたくと考えているところである。そこは共通するところである。

各校種によって若干、丁寧な説明の仕方などは変わってくるところではあるが、共通したところは、とにかく3密に十分注意していただくということである。  
大坪委員／日程を教えてください。

例えば、小学校と中学校、特別支援学校、高等学校、専修学校の入学式の日程というのは、同じ日なのか違う日なのか。

指導第一課長／それぞれ別の日に設定してある。

中学校が8日、小学校が9日である。

田島教育長／始業式は高専を除く全ての校種において6日。戸畑高等専修学校の始業式が7日。

市立高校と高等理容美容学校の入学式は7日。8日が中学校の入学式、9日が小学校と戸畑高等専修学校の入学式、10日が特別支援学校と中央高等学園の入学式ということで間違いないか。

指導第一課長／10日は幼稚園の入園式も行うこととしている。

大坪委員／承知した。

シャルマ委員／分散登校についてだが、小学校は1日登校、中学校は2日登校という話だったが、3月は、小学校は半日、1日とは言いながら、時間的には半日だったように記憶しているのだが、時間帯はどうなるのか。1日になると、どういうふうになるのか。

児童生徒の預かりについてもだが、「保護者の求めに応じて原則始業時刻から下校時刻まで」と、こちらも1日というふうになると、例えば、半日希望の方とか、家族の都合で時間帯に融通を付けたいとか、そういった希望も実際には3月にあったのか。そうすると非常に学校の負担もあるかなとも思う。

指導第一課長／登校日については、3月の場合も半日ということで設定をさせていただいた。

2時間から3時間というところである。

今回も、基本的にはその程度ではないかと思うが、検討中である。

そういった形で柔軟に、また対応してまいりたいと思う。

田島教育長／3月の預かりの実態、ある程度、把握ができているのか。

太田教育次長／4の(4)にある「パンの提供」ということを考えているので、パンが、準備ができる時間というのを考慮して、登校日を設定しなければならないというふうに考えている。

できれば、昼ぐらいまでは学校に留め置いて、パン・牛乳等を食して帰るといった形になるかと思う。

また、夕方にしか学童が開かないので、学童の子どもたちについては引き続き、学校で見守りを行うというような形で、基本的には進めていこうと考えている。

まだ細かいところについては、またこれから打ち合わせを詰め、学校にお知らせをしたいと考えている。

竹本委員／家庭学習の支援という形で今回の休みの期間、ネット上からダウンロードできるような支援を行っていただいていたのだが、実際にそれぞれの家庭でダウンロードして印刷するとなると、結構な枚数と手間と時間と、ということで、なかなか実際に使ってもらえる家庭を見ることはなかったのだが、今回、新たにこういうものという支援について詳しく教えていただきたい。

指導企画課長／おっしゃるとおり、プリンターが家がないという話は聞いている。

そのため、学校でプリントをして、それを取りに来てもらったりといったこともあったが、それはそれで学校にお金の負担がかかった。

我々としては、プリンターがない場合は、ノートに写して、ということ、実は紙に書いていたのだが、それはやりづらいという話もあった。

なかなかそこを解消するのは難しいところがあり、今回は特別な申し込みがなくても見られる、無料動画サイトを紹介させていただいて、それがあれば、プリンターがなくてもある程度はできるかなと考えている。

新しくそのような取組みをさせていただきたいというふうに考えているところである。

田島教育長／なかなかネット環境が各家庭によってバラバラというのもあり、もう少し ICT が進んでいけば、もう一歩進んだ家庭学習のフォローができると思うのだが、まだ時代がそこまで追い付いてない。

しかし、少しでも検討を進めていきたいと思っている。

津田委員／今回の臨時休業についてのやり方というのは、それなりに熟慮をされて行われたことだと思う。

だが、もう一方では、子どもの健康で、新しく新型コロナの発生というのが今後、出てくるということは当然あり得るだろうし、それについて、最後の参考資料にそういったことも一部書いてあるが、臨時休業中に学校現場とかで、「感染者が判明した場合」もしくは「感染者がいない学校も含めた、地域一斉の臨時休業の考え方」というような形で書かれている。これについて、少し強調すべきことは強調して、説明していただければと思う。

特に今、医療機関側も、体制が急速に今変わりつつあるが、学校現場は今後、何か予期せぬことが起こった場合、どういったことを考えているのかを教えてください。

太田教育次長／実は、この文科省から配布された取組の細かい参考資料についても、学校には知らせており、特に今日、北橋市長から、北九州市自体が、新規感染者数や感染経路が明らかでない患者が急増しているということで、認識としては「感染拡大警戒地域である」という言葉があったので、これについては学校に、指導部長のほうから、そのような状況であるということ伝えていく。

3月の状況よりもさらにレベルが、危険性が高まっているんだということを学校に認識をしていただいた上で、対応してもらいたいということを伝えている。

また、教職員や児童・生徒への感染といったことも十分想像できるので、そうした場合には即、そういった対応をして、出席停止であるとか臨時の休業、こういったものを保健所等と連携しながら行ってまいりたいと考えている。

田島教育長／私から追加だが、11ページの右側の流れにも載っているが、本日、市全体の  
コロナウイルス対策の対策会議があり、その中で市長のほうから、「北九州市が、  
今の判断としては『感染拡大警戒地域』であるというふうに、はっきり認識して  
いる」という発言があった。「外出の自粛の要請、4月の19日までは、イベン  
トや集会を自粛してほしい」と、市民にメッセージを発信するということを、今  
日言われていた。

その一環として、今回は学校を休業にするというところである。

報 告 終 了

#### 4 閉 会

16:50 田島教育長が閉会を宣言